

# 学校連携モデル研究事業 実施要項

## 1 事業目的

博物館の教育普及活動としては現在、「小学校民具体験」「展示室が`」等の教育普及活動を展開している。そして近年、県内各校からは県内外の各学校と連携した出前授業をはじめ、館の収蔵資料を利用した多岐にわたるサービス提供の要望が高まっている。

そこで、平成 29 年度から 32 年度にかけて「学校連携モデル研究事業」として、県内の各種学校に学校連携モデルを募り、県内 5 か所における博物館連携のモデル研究の拠点をつくることで、出前授業等の継続的な支援を通して児童生徒の沖縄の歴史、文化に対するアイデンティティの形成と、郷土への誇りの醸成をはかり、博物館資料の利用・観覧における来館者の増加を促す。

## 2 事業内容

初年度（平成 29 年度）は、県内各種学校における、諸調査・研究及び実践、モデル研究校の応募、国内博物館等の教育普及先進館の事例等の調査を行う。併せて来館時の学習プログラムの構築、および指導マニュアルの構築を図る。

平成 30 年度～32 年度上半期の 2 年半にかけて、連携モデル研究校への出前授業等の支援活動を図る。2020 年度下半期においては、成果報告（パネル展示会を予定）等、事業のまとめを行う

## 3 2017 年度から 2020 年度までの実施計画表

年度	事業内容
平成 29 年度 (2017)	○希望校への出前授業等 ○連携モデル校に係る調査 <県内小中高等学校・特別支援学校> ○他教育普及関連調査
平成 30 年度 (2018)	○連携事業開始 1 連携校への支援（出前授業等） 2 県本島内における県博キット体験支援 3 教員対象の研修会の開催
平成 31 年度 (2019)	○連携事業継続 1 連携校への支援（出前授業等） 2 県本島内における県博キット体験支援 3 教員対象の研修会の開催
平成 32 年度 (2020)	○連携事業継続（4 月～9 月） 1 連携校への支援（出前授業等） 2 県本島内における県博キット体験支援 3 教員対象の研修会の開催 ○連携事業まとめ（10 月～翌年 3 月） ・成果報告（パネル展示会を予定）

#### 4 各連携校への支援について

(1) 出前授業の実施内容

- ①学校での授業や教員の研修会などに学芸員を講師として派遣する。
- ②授業では、ティーム・ティーチングの手法により、学芸員は教員と共同し、博物館資料を活用するなどして児童・生徒の学習を支援する。

(2) 対 象

沖縄本島・県内離島含む公立学校及び私立学校 ※クラス単位もしくは学年単位

(3) 実施時間：1～2時間程度。（調整可）

(4) 実施場所 当該校

(5) 申し込み方法 ※別紙（様式1）「講師派遣依頼書」参照。

(6) その他

各学校から依頼の「出前授業等」に係る学芸員の派遣旅費（交通費）は、博物館で負担する。

#### 5 沖縄県内における県博キット体験支援について

(1) 教育普及担当学芸員、及び博物館ボランティア来校によるキット体験の支援

（沖縄本島内対象）※離島地域においては出前授業において学芸員派遣があった場合に、併せて教育普及担当学芸員が対応。

①資料を手で直接触って、学習する「県博キット」の体験。授業、昼休み、放課後の時間帯を使用しての博物館ボランティアによる体験支援を行う。

②離島地域においては、前頁（1）出前授業時に伺わせて頂いた際、併せて実施可能。

(2) 県博キット体験支援申し込み方法

①「出前授業」に関する申し込み方法と同様。

②「出前授業」と同期日に開催希望の場合も併せて別紙（様式2）「県博キット支援依頼書」を提出。

③博物館ボランティアを要請した体験支援については、派遣回数・人数とも博物館班教育普及担当と調整。

(4) 貸し出し可能な県博キット一覧

別紙参照（リーフレット）

#### 6 教員対象の研修会の開催（当館にて8月第1週開催予定：複数校対応可能）

(1) 小学3学年対象単元「昔の道具とくらし（民具体験学習）」における、授業の指導案作成・進行についてレクチャーを行う。

(2) 民具の扱い方や素材解説などマニュアルを提供し、実際に当館資料を見ながら解説を行い、教職員の授業における活用を支援する。

(3) その他教職員の要望に応じ、博物館資料について解説を行い、教職員の授業における活用を支援する。